

熊本大学広報誌

熊大通信

vol.

43

2012 WINTER



特集Ⅰ

人と共に、成長する有機体
～熊本大学附属図書館

図書館へ行こう。

特集Ⅱ

第5回大学対抗映像コンテスト最優秀賞受賞!

90秒に込めた学生たちの風

ムーブメント



国立大学法人
熊本大学

Kumamoto University



CAMPUS SCENES キャンパスの風景

工学部研究資料館

機械遺産に認定された工学部研究資料館(旧機械実験工場)。動態保存されている工作機械群は全国でも貴重な財産となっている。国指定重要文化財。熊狩祭をはじめ、イベント時には館内を見学することもでき、コンサートなども開催されている。





熊大通信 43

2012 WINTER

熊本大学広報誌 熊大通信

*皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

- 【発行】 国立大学法人熊本大学
〒860-8555 熊本市黒髪 2-39-1
Tel.096-342-3119
Fax.096-342-3007
sos-koho@jimui.kumamoto-u.ac.jp
- 【編集】 熊大通信編集委員会
田中 智之／委員長・大学院自然科学研究科
大辻 正晴／文学部
河野 順子／教育学部
朝田 康禎／法学部
中田 晴彦／大学院自然科学研究科
米満 孝聖／大学院生命科学研究部
首藤 剛／大学院生命科学研究部
田中 尚人／政策創造研究教育センター
西村 兆司／マーケティング推進部広報戦略ユニット
- 【制作】 株式会社カラースプランニング

CONTENTS

- 03 特集Ⅰ 人と共に、成長する有機体 ～熊本大学附属図書館
図書館へ行こう。
- 09 研究室探訪 光を使って物質の可能性を探り、
未来を拓く研究を
衝撃・極限環境研究センター 赤井一郎研究室
- 11 特集Ⅱ 第5回大学対抗映像コンテスト最優秀賞受賞！
90秒に込めた学生たちの風（ムーブメント）
- 13 国際交流 インタビュー
熊本大学から世界へ 立山龍太さん
世界から熊本大学へ ビルジャン・マリウムさん
- 15 卒業生ジャーナル
- 17 KUMADAI TOPICS
- 22 熊本大学基金よりお知らせ
- 表紙／熊本大学附属図書館の中央館・第3閲覧室。本学教職員による著作コーナーや
県関係資料、新聞縮刷版など、身近な資料を閲覧できる



特集Ⅰ

人と共に、成長する有機体／熊本大学附属図書館

図書館へ 行く。。

膨大な資料を蔵書する図書館は、
今やインターネットを通じて
世界とつながる巨大なアーカイブとして、
重要な役割を担っています。
前身となった教育機関の図書館である
旧制第五高等学校図書館の
歴史と伝統を今に受け継ぐ、
われらが熊本大学附属図書館の最新事情を
うかがいに中央館を訪ねました。



英語読本コーナー。初心者から上級者まで、読みやすい本を選んで。学内外で人気が高い

蔵書は先人たちの知恵の集積

講義の合間や放課後に、多くの学生たちが集う熊本大学附属図書館。黒髪北キャンパスの中央館と本荘・九品寺キャンパスの医学系分館、そして大江キャンパスにある薬学部分館の三つの図書館には、年間約54万5000人もの利用者が訪れています。蔵書数は約131万冊。広く学外へも門を開いており、貴重な資料を求めて足を運ぶ一般の人々の姿も少なくありません。

「もっと図書館を好きになってもらいたい！」と、さまざまな取り組みを行っているのは利用相談担当・廣田桂さん。図書館の入口にあるロビーには、さまざま



「Library Loversキャンペーン2011」の読書の木。開催中、熊本県のキャラクター「くまモン」もやってきて、しおり作りにもチャレンジしました

図書館を本や人との出会いの場に

最近では、九州地区の国公私立大学図書館と連携し、「Library Lovers キャンペーン2011」を開催。読んだ本の感想を「葉っぱ」に記して、「読書の木」を育てるというコンセプトでロビー展示を行い、多くの学生たちが読書感想を寄せました。「一枚一枚、読書の木が葉っぱで覆われていく姿は、うれしかったですね。若手職員を中心に1〜2カ月置きに企画を替えています。キャリア育成やビジネス関連など、学生の皆さんに楽しみにしてもらええる企画を展示していきます」と、廣田さん。

また、資料購入に際して学生選書員を募集。学部を問わず学部生から院生まで多くの学生にとって興味のある本やみんなに読んでほしい本を選んでもらう取り組みも行っています。「自分の好みだけでなく、大学にふさわしいかどうか、みんなに役立つかどうかなど、視野を広く持つて図書に向き合う良い機会になった」と、参加者の声が寄せられています。「二冊の本が人生観さえも変えてしまうような感動をもたらすこともあります。図書館がそんな本と出合ったり、人と人をつなぐ場になったらいいですね」と語る廣田さんをはじめ、職員一人一人の思いが中央館を元気に彩っています。



熊本大学附属図書館

中央館 黒髪北キャンパス

学習・研究に関する資料は1〜2階および地下書庫で利用可能。また旧制第五高等学校や大学の前身となった各教育機関に所蔵されていた資料も旧館書庫で保管されている。貴重史料に関する閲覧には手続きが必要。
●開館時間／8:40〜22:00(休業期平日は17:00まで、土・日曜、祝日は12:00〜18:00)
●休館日／冬期休業期間中の土・日曜、祝日および年末年始、試験期間を除く毎月第4水曜、夏季一斉休業日ほか



医学系分館 本荘・九品寺キャンパス

医学関連の蔵書を収容。教職員および生命科学系の院生は24時間利用可(要申込)。
●開館時間／9:00〜21:00(各期休業期平日は17:00まで、土・日曜、祝日は12:00〜18:00)
●休館日／休業期間中の土・日曜、祝日、年末年始、毎月第3水曜(17:00〜21:00開館)、夏季一斉休業日ほか



薬学部分館 大江キャンパス

薬学関連の蔵書を収容。教職員、生命科学系の院生・研究室配属の薬学部生は24時間利用可(要申込)。
●開館時間／9:00〜17:00
●休館日／土・日曜、祝日、年末年始夏季一斉休業日ほか



熊本大学OPAC

キーワードで蔵書を一発検索。出版年代別・著者名など絞り込みもでき、電子ジャーナルや電子ブックも同時に検索できる



電子ジャーナル

読みたい雑誌などを検索してダウンロード。新旧問わず、さまざまな時代の論文を読むことができます



熊本大学 附属図書館の 今を探る

世界中とつながる「電子図書館」

IT化によるデータベース化が進む現代の図書館。パソコンを開けば、そこには図書が所狭しと並ぶ従来の図書館を超える膨大なアーカイブが存在し、より便利に、より多彩な情報を得ることができます。

電子情報担当の森下和博さんは、熊本大学附属図書館の電子コンテンツの充実を図る一人です。インターネットを介して必要な情報を24時間、いつでも取り出せることや必要な蔵書を簡単に検索・予約できる利便性は、「電子図書館」の大きなメリットです。また、世界中からアクセスできるシステムを生かした情報発信など、「電子図書館」の持つ可能性は無限大。さまざまなコンテンツを有効

活用するために、模索する毎日です。

「私たちの取り組みの一つとして、熊本大学学術リポジトリをネット上に公開しています。本学の研究者が書いた論文約1万件を世界に向けて公開することで、研究成果を広く知ってもらうことができます。さらにその成果から、他の研究者による新しい発見が生まれることもありますから、社会貢献にもつながります。全世界から毎月約3万件のアクセスがあり、国内外から高い評価を得ているんですよ」と、森下さんは熊本大学学術リポジトリ公開の意義について語ります。

また学内LANでつながるコンテンツに電子ジャーナルがあり、世界で発行されている約5000タイトル以上の雑誌や図書を閲覧することが可能です。「電子ジャーナルの利用についてもパソ

Library Topics

熊本大学附属図書館
貸出ランキング

熊本大学OPACに最新の貸出ランキングが掲載されています。みんなは今、何を读んでいるのか、また学部ごとに人気の図書はどんなのかなど、チェックするだけでも楽しい！

中央館 Best5

- 1 別冊図書館戦争 / 有川浩著
- 2 カラマシソフの兄弟 / ドストエフスキー著
- 3 ことりつぶ 国内版
- 4 タビリエ
- 5 図書館戦争 / 有川浩著

医学系分館 Best5

- 1 ハリソン内科学 / ハリソン原著
- 2 医学生・研修医のための画像診断BEST AID: ベンツク222 / 山下康行編集
- 3 標準整形外科学 / 野田康はか編集
- 4 標準整形外科学 / 鳥居忠彦・国分正一 総編集
- 5 消化器・腫瘍病 / 高橋茂樹編著

薬学部分館 Best5

- 1 リボソムの作成と変換法 / 奥直人著
- 2 シクロデキストリン超分子の構造化学 / 原田一明著
- 3 アットザ・ヘルム 自分のラボをもつ日のために / 谷本 昭彦著
- 4 フロサイトマリー自由自在マルチカフー解析 からクロマトグラフィまで / 中内啓光監修
- 5 ヒューマン薬学入門 / 日本薬学会編

※2011年11月調べ

すぐに役立つ図書館ガイダンス

中央館では学生の情報・資料探索の基本的な操作をレクチャーする図書館ガイダンスを随時実施しています。文献データベース(CN/IntViewsなど)の使い方や利用できるデータベース一覧、熊本大学OPACによる所蔵調査、学外からの文献取り寄せ方法など、すぐに役立つ情報がいっぱい！1月27日(金)までは、セミ単位での個別ガイダンスも随時受け付け中。期間中は1名からでも対応します。



春と秋には「30分で分かる! 図書館ガイダンス」を実施

蔵書以外の資料も手軽に入手
前出の廣田さんもまた「電子図書館」を有効活用してほしいと語ります。「熊

コンだけではありません。スマートフォンや携帯端末を活用し、いつでもどこでも必要な情報を引き出せることが求められる時代になりました。これらのモバイル端末に対応できるコンテンツサービスを実現したいですね」と、森下さん。最近では、電子ブックとして発行される本も増えてきました。電子コンテンツの普及を目指し、さまざまなアプリの導入も視野に入れています。

本大学OPAC(蔵書検索システム)を利用すると、蔵書や新着図書などを検索できるのはもちろんのこと、ILLサービスでは本館に所蔵していない資料を複写して取り寄せたり、他の図書館から図書資料を取り寄せることもできます。また、論文検索をナビゲートするリンクリゾルバというツールも導入されました。さまざまな便利なツールもありますので、気軽に図書カウンターに声を掛けてください。」
パソコンを開けば、そこは熊本大学附属図書館。ユーザーのニーズに合わせて成長する大学の図書館の新たな姿がそこにあります。

NEWS

イベントやガイダンスなど役に立つ情報を随時リリース。休館日のお知らせなども詳細に知ることができる



阿蘇家文書

国指定重要文化財・阿蘇家文書をデータ上で閲覧することができる。第1巻～第34巻まで一堂にそろえた一級の資料だ



データベース

各学部に関連するデータベースや新聞・雑誌等のデータベースにリンク。シラバスなども公開されており、受験生は必見



中央館、医学系分館、薬学部分館ともにパソコンコーナーがあり、学生たちは学内LANを通じた情報収集や学習・研究に利用している



熊本大学学術リポジトリ

本学で発表された学術論文、学位論文、プレプリントなどの知的生産物を電子的に蓄積。簡単に検索できる機能もある



カーライルの本もあり、漱石も手にしたかもしれないロマンを感じさせます。

夏目漱石も読んだ!? 五高時代の図書資料

歴史を刻む熊本大学附属図書館ならではの蔵書に第五高等学校図書館時代の図書資料が挙げられます。蔵書印が押された本には、当時の落書きなども残されています。かの夏目漱石はイギリス留学後に紀行文「カーライル博物館」を記しています。留学前は五高で教鞭を取っていました。蔵書には当時のトーマス・カーライルの本もあり、漱石も手にしたかもしれないロマンを感じさせます。



URL: <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/tokogen/bungakusho.html>

東光原文学賞

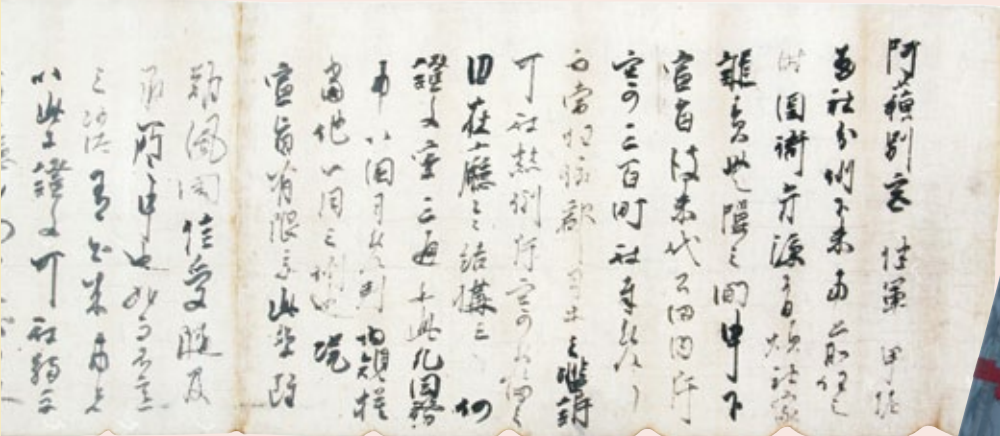
東光原文学賞は学生の言語力向上と創造力を育み、地域社会において文学文化活動の中核となる人材育成を目指して、平成20年度にスタートしました。第4回の募集は締め切り、1月に大賞・優秀賞などが発表されます。受賞作は附属図書館ホームページや作品集に掲載。過去の受賞作品も閲覧することができます。

藩政時代から近世を解き明かす

歴史遺産 アーカイブ

地域へ知と財産を広く還元

他の図書館にはない熊本大学附属図書館の魅力は、数百年の時を越えて今に受け継がれるさまざまな歴史遺産を所蔵していることです。



国指定重要文化財 阿蘇家文書

「第1巻-9 北条時政書下刊本12号」。北条時政が阿蘇大宮司に指示した古文書。健軍・甲佐社領化を覆そうとする郡司らの訴えを受けた在庁官人等に対し、新任国司(藤原頼範)への働きかけは不当であることを触れ示すようにと、記されている(熊本大学附属図書館所蔵)



八雲文庫

(右)ハーンによって近代日本のありのままの姿が描かれた「心」の初版本「KOKORO」。
(上)「ちりめん本」とは日本古来の趣きあふれる装丁を施した外国人向け絵本のこと。ハーンもさまざまな物語を訳している(熊本大学附属図書館所蔵)



【その他の貴重資料】

松井文庫

八代市の松井明之氏旧蔵の近世藩政史料

時習館文庫

細川重賢が創立した藩校の蔵本など

落合文庫

五高教師であり、後に大正天皇の侍従となった落合為誠氏旧蔵の漢籍および国書

柚原文庫

五高出身の柚原益樹氏旧蔵の漢籍など

ポーター文庫

五高英語教師だったウィリアム・N・ポーター氏の在職中の蔵書の一部

菅野文庫

菅野是正氏旧蔵の幕末から明治時代の蘭書など

国指定重要文化財・阿蘇家文書は、阿蘇神社宮司である阿蘇惟友氏旧蔵の古文書で、平安中期以降の社会情勢や政治史を見る一級資料です。
また、肥後藩主・細川家に伝えられる膨大な藩政史料が、熊本大学附属図書館に寄託され、熊本大学文学部附属永青文庫研究センターでは、史資料の総合的な研究を行っています。

貴重資料を担当する利用相談担当・川内野 祐子さんは、その価値について次のように語ります。「公益財団法人永青文庫から寄託された史資料は、約4万3000点以上にも上ります。また、細川家の城代家老を務めた松井家に伝わる近世藩政史料のほか、「維新の十傑」に数えられる横井小楠ゆかりの古文書などもあり、大名家とその家老、そして藩士にまつわる歴史資料を全て所蔵するところは大変希少です。阿蘇家文書は当館ホームページで見ることができ、藩に



細川家北岡文庫

「二丸之絵図」より抜粋。南北朝時代の細川頼之から廃藩置県までの藩政史料や有職故実の古文書は、全国有数の貴重な財産。織田信長より細川幽斎へ届けられた書状なども含む(公益財団法人永青文庫所蔵 熊本大学附属図書館寄託)

よる住民の評価や褒賞を記録した「在」の解析目録も公開されています。学内だけでなく、郷土史などを研究されている地域の研究者の方もご利用になっています。
また旧制第五高等学校時代に教師として赴任した小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)のコレクションも所蔵。熊本大学学術資料調査研究推進室では、アメリカ時代の新聞記事などの研究、「ハーン書簡集」未収録書簡の復元などを行っており、ハーンの研究拠点として、関係資料の整備を進めています。
「藩政や細川家、あるいは貴重資料のバックグラウンドにある物語に焦点を当てたさまざまな企画展示も行っています。知と財産を地域社会へ還元することも附属図書館の大きな役割の一つ。その橋渡しをしたいですね」。

人をつなぎ、文化をつなぐ図書館のカタチ

ラーニング・コモンズへ

より多くの人に本に親しみ、
図書館を大好きになってほしいという職員たちの思いが、
館内の至るところに表れた熊本大学附属図書館。

ラーニング・コモンズ＝共有の場となる
新たな図書館像を目指す森 正人館長にその思いを聞きました。



松井文庫

藩政史研究上貴重な資料約37000点を収蔵した松井文庫に含まれる古今和歌集(熊本大学附属図書館所蔵)。熊本大学附属図書館では、905年に編纂された古今和歌集の1100周年を記念し、2005年には「古今和歌集1100周年記念フォーラム」を開催した



箱に納められた古今和歌集(熊本大学附属図書館所蔵)。細川幽齋が生きた時代から時を越えて、今に受け継がれている



「幼いころから本と本のある場所が大好きでした。気軽に図書館へ足を運んでほしいですね」と語る森館長。文学部・社会文化科学研究科教授

貴重資料に見る歴史の全体像

古典文学の研究者として、早期から寄託された貴重資料を調査してきました。

多彩な貴重資料の一つ一つを研究することはもちろん大切ですが、それらを通して歴史全体を捉えることに大きな意義があります。例えば、永青文庫や松井文庫に写本として所蔵される「古今和歌集」は、最初の勅撰和歌集として大変権威を重んじられていますが、編纂(さん)された905年以前は漢文学全盛の時代でした。そんな中で古今和歌集が出現すると、漢文中心の文化に一石を投じたかのように日本の文学が表に出てきます。後の古典文学の礎となり、「源氏物語」なども生まれました。古今和歌集なしにその後の文学は語れないほど、大きな意義を持っているんですね。

細川幽齋もまた、古今和歌集の秘説を選ばれた者だけに伝える古今伝授という大役を果たしました。伊勢物語や百人一

首の注釈も執筆し、有職故実の文化や当時の文学を次の時代へと受け渡した一人だといえるでしょう。

そうした歴史文化の集積を講義に取り上げることも珍しくありません。何百年もの隔たりがあれば、考え方も物事の捉え方も当時と違って当たり前なのですが、本質を丁寧に読み込むと初めて見えてくるものがあります。古代中世の人々の情報や考え方を学生たちが読み取り、理解してほしいですね。

新しい図書館としての成長を

「図書館は成長する有機体である」という言葉があります。研究資料の集積による各学部や大学院との連携の強化。学生の発表能力や文書作成能力などの基礎技法を伸ばし、未来を担う人材の育成。多様化する電子ライブラリに対応し、世界の図書館とつながるアーカイブ力。そして学生と先生、チューターをつなぎ交流を深めるラーニング・コモンズとしての在り方。そのどれもが成長し続けているかなければならない図書館の姿を表しているのではないのでしょうか。人とともに、そして蔵書や電子ライブラリとともに、新しい図書館に大きく成長していきたいですね。

研究室探訪

Laboratory Exploration

赤井一郎研究室

衝撃・極限環境研究センター

極低温光物性研究室

光を効率的にエネルギーに変える物質を探求

フェムト秒レーザーを使って物質内に起こる現象を調べること、光を効率的にエネルギーに変換する物質や材料の基礎研究に取り組む赤井一郎研究室の皆さん。「僕たちが未来を切り開いているんだという思いで、日々研究に取り組んでいます。将来的には、太陽電池などに応用できる材料を見つけたいですね」と夢を語ります。また、半導体中のボーズ凝縮(※2)についても研究を進める同研究室。実現されれば、コンピューティングの新しい基本原理として用いることができる世界的に注目を集める研究です。

新機材導入で飛躍的進歩に期待

実験は、 -270°C という極低温下でフェムト秒レーザーをさまざまな物質に当て、内部で起こる変化を調べていきます。博士前期課程1年の岩崎友哉さんは、「実験装置などの設計から組み上げまですべて研究室で行っています。実験の95%は準備などの地道な作業。でも残りの5%にゾクゾクするようなことが待ち構えているんですよ」と語ります。

昨年、極低温状態を実現するためのヘリウムと窒素の液化機を本学で導入。「これまで熊大の研究者たちの悲願だった液化機を導入したことで、研究が飛躍的に進む環境が整いました」と、赤井教授はその喜びを語ります。

学生よ、プライドを持って

現在「ソフトマテリアルのコヒーレントフォノン」「フェムト秒時間領域の過渡分光」「半導体材料における巨視的量子状態の実現」「半導体量子構造中の高密度異常伝播」「光捕集性 dendrimer の高効率光エネルギー変換過程」という5つのテーマについて研究を進める研究室の皆さん。

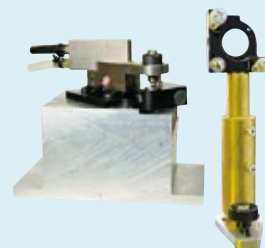
赤井教授は「学生に求めるのは、自主性とプロ意識。世界中で私たちだけがこの研究をやっているんだというプライドを持って取り組んでほしい」と学生たちにエールを送ります。

※1 フェムト秒…時間の単位で、1000兆分の1秒のこと。フェムト秒レーザーとは、数フェムト秒から数百フェムト秒の間だけ発光することのできる光レーザーを指し、半導体の基板に微細な穴を開けることが可能であることから、半導体工学の進展に期待されている

※2 ボーズ凝縮…超低温下では粒子が集団となって一つの大きな波のように振る舞う凝縮状態を形成すること。半導体内のボーズ凝縮を証明できれば、量子コンピュータへの応用が可能になる

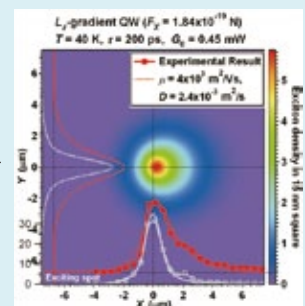
極低温や超短縮時間などの環境を利用して、新現象や新しい機能性材料を探す研究を行う衝撃・極限環境研究センター。

その中にある赤井一郎教授の研究室では、フェムト秒レーザー(※1)を用いて、極低温(-270°C)状態で物質内に起こる現象や、光への反応性を探ることで新たな半導体材料開発のための基礎研究を進めています。



← フェムト秒レーザー光を反射するミラー(右)とフェムト秒レーザーの心臓部のチタンサファイア結晶

研究テーマの一つ「半導体量子構造中の高密度異常伝播」に関する実験結果。新しい原理によるコンピューティングのためには、巨視的量子状態の実現に合わせて、その伝送が必要不可欠で、その可能性を探り続けている



← 赤井研究室では、 dendrimer という木の枝のように分岐した構造の樹状高分子の光捕集に着目。フェムト秒レーザーを用いた実験に備え、調整にも熱が入る



→ 念願のヘリウムと窒素の液化機が導入され、黒髪南キャンパスの同センター横に巨大なタワーが登場した



光を使って物質の可能性を探り、 未来を拓く研究を

「世界を引っ張る研究をしたい」と語る研究室の皆さん。赤井教授を筆頭に10人の学生が日夜研究にいそんでいる





NHKくまもの風スペシャル
**第5回大学対抗
 映像コンテスト
 最優秀賞
 受賞!**

[特集Ⅱ]

90秒に込めた 学生たちの風

ムーブメント



少年がそっとのぞきこんだ水の中には、美しい熊本の水が育んだ生き物たちの楽園が広がっていた。ラストは少年の姿が自然を愛し、川と共に生きてきた男性の姿に変わる。現場の釣り人の協力を得て撮影した。左から3コマ目が、絶滅危惧種のオヤニラミ

2011年11月、NHKくまもの風スペシャル「第5回大学対抗映像コンテスト」が開催されました。県内8校が激戦を競った末、熊本大学ダイビング部の作品「ずっと、たからもの」が最優秀賞を受賞。制作チームに、「宝」をテーマに描いたこの作品へ込めた熱い思いや制作秘話をうかがいました。

守り続けたい「熊本の水」

ゆらゆらと揺らめく水面をのぞきこむ少年の影。「水の中はどんな世界なんだろう?」。水中メガネを付けて透明度の高い水の中に顔を浸すと、そこには見たことのない不思議の森が広がっていた――。

NHKで放映中の番組「くまもの風」内で開催された第5回大学対抗映像コンテスト。県内8大学から「あなたの宝」や「町の宝」など



「宝」をテーマに、アイデアを凝らしたさまざまな作品が寄せられました。その中で熊本大学ダイビング部は、90秒という制限時間の中で「熊



浅い場所は腰におよそ10kgの重りを付けて素潜りで撮影。深いところは、スタビライジング・ジャケット、タンク、フィンとフル装備のダイビングスタイルで挑んだ

本の水」をモチーフに、未来永劫大切にしていきたい水辺の風景を爽やかに描きました。

撮影を行ったのは（上写真右から）中隈太さん（工学部3年）、後藤太さん（法学部1年）、林香織さん（文学部3年）、堤里帆さん（教育学部2年）の4人。「NHKに勤務している部のOBから、こんな映像コンテンツがあるよ、とまたま聞いたんです。中隈さんと話しているうちに、じゃあやってみようよ！とあって」と林さん。応募の人数制限が5人以内だったので堤さんと後藤さんを誘い、4人で撮影をスタートしました。

私たちにしか撮れない水中風景を

「宝」というテーマを水で表すことは最初から決めていたと林さんは言います。「熊本県は古くから、水の都」と呼ばれ、水をとっても大切に思う土地柄。以前から部の活動の一環として時々水の中をカメ

ラやビデオで撮っていましたし、この豊かできれいな水をずっと残したいという気持ちも、ダイビングをしている私たちだからこそ映せる映像で表現してみようと思いました。」

4人はビデオカメラとコンパクトデジタルカメラを携え、県内各地をロケハンに訪れました。撮影スポットが決まると水底に潜り、青々とした水草の群生や清冽な湧水、アユ、ウグイのほか、絶滅危惧種のオヤニラミなど希少な魚もビデオに収めました。しかし、撮影不可エリアがあつたことから締切前3日間ではほぼ全てを撮り直すという状況に見舞われてしまいます。「締切当日も撮影に行き、提出時間の20分前まで編集していました。そんな過酷なスケジュールの中でも、丁寧に水中の風景に目を向け「この場所はずっとたからもの」と結んだこの作品の



「水の中に全身で潜れる自分たちだからこそ撮れる映像が撮りたかった」という4人。メンバーの誰もがカメラを手に、日頃から美しい水中の風景を撮影してきた

「ずっと、たからもの」作品紹介



メッセージ性は高い評価を集め、事前のネット投票でも人気を呼びました。会場では映画監督・井筒和幸さんから3人の審査員によって最優秀賞という輝かしい荣誉を受けたのです。

4人は「熊粋祭や学外で行っている年3回の写真展で、これからは水中映像も見てもらいたいですね」「熊本のアートコンテンツなどで、自分の作った映像を出してみようかな」と、今後の活動にも意気込みを見せています。

第44回 関東学生潜水連盟フリッパー大会

2連覇を達成!!

熊本大学ダイビング部

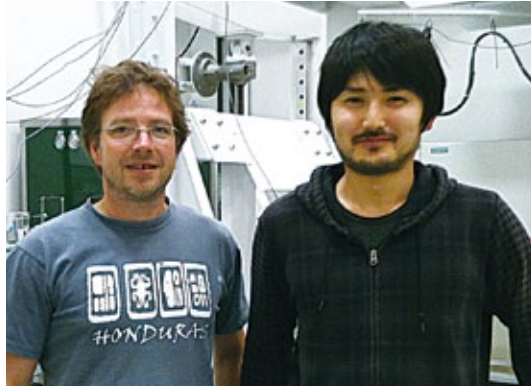


関東を中心とした大学のダイビング部が集まって、タンクキャリアやフィンスイム、潜泳などを競う「第44回関東学生潜水連盟フリッパー大会」に特別枠で出場。昨年に続き全国制覇を達成しました。

水環境研究の先進地で学び 水害のない社会を実現したい

大学院自然科学研究科 社会環境工学専攻
博士前期課程2年 立山龍太さん

2011年8月から10月までの2カ月半、カナダのケベック州にある国立科学研究所(Institut national de la recherche scientifique・通称INRS)で研究を積んだ立山龍太さん。水害の仕組みを学ぶことで、人々の生活を守りたいと夢を語ります。



国立科学研究所で一緒に実験に取り組んだ放射線技師のフレデリックさんと研究中のワンショット

子どもの頃、バングラデシユの洪水の様子がテレビで見て、どうしてこんなことが起こるんだろうと思ったことが、水に興味を持ったきっかけです。その後、熊本大学に進み、地球温暖化によって引き起こされる海面上昇が、海岸浸食に及ぼす影響などについて学んでいます。大学で学ぶうちに、同分野で先進的な研究を行い、熊大とも共同研究を行っているカナダの国立科学研究所で学びたいと思い、大学院教育のグローバル化を目指す「イノベーション創出のための大学院教養教育」(通称「AGEIN」)制度を利用し、留学しました。

水害は、波が海岸や川岸に当たり浸食することで、起きやすくなります。水

害が起こらないようにするには、波と砂の動きを予測することが大切なのですが、砂の地盤は水と砂が入り混じっており、海岸の場所によって砂の密度も異なるので、砂の移動が起こるのかを予測することがとても難しいんです。国立科学研究所は、世界トップレベルの研究施設が整っています。海岸の砂を研究所に持ち帰り、実際に波を起こし、X線CTで砂地盤の密度を計測するなどの実験を繰り返しました。実験で疑問に思ったことは、熊大の先生にも相談して、解決するようにしました。さまざまな研究の最新動向など、熊大に集まる情報は層が厚く、また精神的にも支えていただいたことで、安心して留学生活を送ることができました。

カナダの研究者たちは、効率よく研究を進めている姿が印象的でした。たとえば、研究室に書籍類は少なく、情報はほとんど電子化されています。また日々の研究を4時に終え、休日はセントローレンス川でボートを楽しむなど、オンとオフの切り替えがうまいんです。

現在は、カナダでの実験データを持ち帰り、解析が続いています。今後は、研究を生かし、水環境が整備されていない国で社会貢献できるような仕事をしたいと思っています。

International exchange Report

国際交流レポート
平成23年9月～11月

9 / 8

KEYフォーラム「発生生物学と再生医療」を開催(9日まで)
グローバルCOE
プログラムおよび発生医学研究所の主催で、工学部百周年記念館にて行いました。



国内外からの招へい者20名、講演者26名、ポスター発表54題、参加者300名でした。

11

カリフォルニア州立大学フラトン校(アメリカ)で海外FD研修を実施(25日まで)
本学教員5名が参加しました。

17

JASSO日本留学フェア(韓国)に参加

24

第9回学生国際会議(CAST 2011 China)を開催(26日まで)



山梨大学(中国)と大学院自然科学研究科の主催で、山梨大学で開催しました。10カ国から26大学が参加し、112件の研究発表が行われました。

10 / 14

山梨大学(中国)を訪問(15日まで)
International Exchangeフェアおよび山梨大学創立110周年記念式典に谷口学長が参加し、XcXianis学長と意見交換を行いました。また、医学部百周年記念式典には竹屋生命科学部部長が参加、山梨大学、亞洲大学校(韓国)および本学の3大学工学ワークショップでは里

交流





世界から熊本大学へ

サムライの町、熊本で学ぶ 難治性疾患に向けた最先端の薬学

薬学部薬学科1年 ピルジャン・マリアムさん

2011年4月から熊本大学で学ぶ
アルメニア出身のピルジャン・マリアムさん。
将来は、アルツハイマー病をはじめとする
難治性疾患の特効薬の研究がしたいと語ります。



医師である父の姿にあこがれ、故郷のアルメニアでは医学を学びました。将来のために、医、薬どちらの知識も身に付けたいと思い、歴史があり、薬学の研究が進んでいる熊本薬学部にて文科省の制度を利用して留学しました。熊本に初めて来た日に、あこがれの熊本城に行きました。目の前に広がる、サムライの世界に感動し、これからこの地で生活するんだと思うと、すごくワクワクしましたね。



水泳部のみんなと一緒に。マリアムさんのはじける笑顔がキャンパスライフの楽しさを物語る

日本とアルメニアの文化の違いに驚くこともありましたが、たとえば、アルメニアでは、自転車は子ども遊び道具で、大人が交通手段として使用する姿にはありません。おじいちゃん、おばあちゃんが、道路ですいすい乗っている姿に、すごくびっくりしましたね。

わたしは水泳部に所属していますが、授業が終わると、まずは部室に直行します。部活に入ったおかげでいろいろな学部の子たちと交流ができました。

また水泳以外のスポーツを楽しむことも多く、先日は大学の水泳部対抗のソフトボール大会で優勝したんですよ。アルメニアの大学には、部活動がないんです。熊本では、部活を通じてたくさん仲間ができるので本当に楽しいですね。

授業では、薬学の専門用語がとても難しく、予習復習にすごく時間がかかります。試験前になると、友だちが勉強会を開いてくれるので、分からないことは教えてもらっています。

子どもの頃から、難治性の患者さんのために全力を尽くす父の姿を見てきたので、父のような医療人になりたいというのが私の夢です。

アルメニアの医学部で培った知識と、熊本で学んだ薬学の知識を融合し、アルツハイマー病をはじめ、まだ治療法が確立していない難病に苦しむ人々のために、役に立つような研究がしたいですね。

授業では、薬学の専門用語がとても難しく、予習復習にすごく時間がかかります。試験前になると、友だちが勉強会を開いてくれるので、分からないことは教えてもらっています。

子どもの頃から、難治性の患者さんのために全力を尽くす父の姿を見てきたので、父のような医療人になりたいというのが私の夢です。

アルメニアの医学部で培った知識と、熊本で学んだ薬学の知識を融合し、アルツハイマー病をはじめ、まだ治療法が確立していない難病に苦しむ人々のために、役に立つような研究がしたいですね。

中工学部長ほか、関係教員、学生が研究を発表、さらに三大学間の覚書の調印も行われました。



20 熊本大学大連オフィス開所式を挙行政大連理工大連(中国)キャンパス内にて開所式を行いました。

22 JASSO日本留学フェア(上海)に参加(23日まで)

25 サンティエノ又国立高等工業学校(Finns)Michel Counin国際担当副学長が来学

26 モンタナ州立大学(アメリカ)Norman Peterson副学長が来学

31 Kumamoto University Global Academic Excellence Seminarを深セン(中国)で実施(1日)

11/7

「留学生と保健学系学生との交流会(第1回)を九品寺キャンパスで開催。保健学系国際化推進委員会の主催で、留学生との交流および英会話力向上を目的に学生・教員ら52名が参加しました。

8 谷口学長が韓国訪問(9日まで)

韓国科学技術院(KAIST)主催の第4回国際学長フォーラムに参加しました。

9 Kumamoto University Global Academic Excellence Seminarをホーチミン(工科大学)にて実施

16 第7回環黄海産学官連携学(総)長フォーラムに参加(17日まで)

韓国・大田広域市で開催され、本学から古川副学長(国際交流担当)が日本側代表として参加しました。

卒業生ジャーナル

Graduates' Journal

本学の卒業生たちの“今”に迫る「卒業生ジャーナル」。
熊本県内はもとより、国内外で活躍する先輩たちの
これまでの歩みや苦労、そして喜び、楽しみなどを通して
精励するその姿をご紹介します。



高橋 弘照 Hiroaki TAKAHASHI

三菱重工株式会社(長崎)勤務
工学部知能生産システム工学科・平成18年度卒/大学院自然科学研究科マテリアル工学専攻・平成20年度修了



現在は発電所向けの発電プラント用ボイラーの製作に携わっています。主な業務としては、生産設備の導入や新技術の検証をはじめ、工場内の工程・コスト管理を行っています。大学時代は、先生方をはじめ多くの方々にさまざまな事へチャレンジできる機会をいただきました。新たな事に挑戦することで、論理的・多角的な思考力と行動力の重要性を学ぶことができ、そこでは多くの出会いがありました。行動することで得られた経験や仲間は、今の自分を支えてくれる一番の財産です。経験は人の成長の大きな助力となります。自由な時間を活用し、積極的に未知の領域へチャレンジし、知見を広めてください。



野口 良美 Yoshimi NOGUCHI

熊本市立錦ヶ丘中学校 勤務
教育学部中学校教員養成課程美術科・平成18年度卒/大学院教科教育専攻美術学科・平成20年度修了



現在、中学校の教壇に立ち、「明るく、楽しく、妥協しない」をモットーに美術を教えています。在学中は、12時間以上研究室にこもり、夜中まで作品作りに没頭する日々でした。作品を作りながら、その時々自分の自分と対峙したり、級友と美術や将来のことについて熱く語り合ったりすることもありました。今、私が子どもたちに語り合えるのは、当時の濃い経験があったからだと思います。子どもたちが「楽しい!」と言って制作している姿に何よりも幸せを感じます。在学生の皆さんには、「とことんやる!」「徹底してやる!」という言葉メッセージとして贈ります。頑張ってください!



深堀 彰 Akira FUKAHORI

大和証券キャピタル・マーケティング株式会社(東京)勤務
法学部法学科・平成20年度卒



銀行や保険会社に対して、資本調達や企業買収などのアドバイスを行う業務に約4年間携わっています。在学中には会社法を中心に学びましたが、会計学や経済学の講義も開講されており、金融業界に興味のあった私は、法律と金融の基礎をそこで身に付けることができました。法律と金融を両輪として学んだことが、今の仕事の実務面でも生きています。在学の皆さんには、自分の努力とやる気で広い世界の門をたたけば、そこで活躍できるチャンスが必ずあると思います。決して自分の能力や可能性を過小評価することなく、自信と高いモチベーションを持っていろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。



佐藤 祐大 Yudai SATO



財団法人日本英語検定協会 検定事業部カスタマーサービス課(東京)勤務
文学部文学科英語英文学分野・平成21年度卒

財団法人日本英語検定協会です主に中学・高校を対象にした通称“英検”の団体受験促進を行う課に所属しています。私自身が英検を学習の指針とし、在学中に1級まで取得したこともあり、日本人の英語力向上に貢献できることに、やりがいを感じています。熊大は緑が多く、五高記念館の佇まいなどもいかにも“大学”らしい印象で、地域のコミュニティとしての役割も果たしています。また国際交流も盛んで、在学時には留学生の友人もたくさんできました。大学時代は、一見具体的なスキルに結び付かないようなことでも、とことん取り組むことが大切。それは、社会人になってからも必ず生きてきます。



米良 真理 Mari MERA



日本調剤株式会社大阪支店 教育情報部(大阪)勤務
薬学部薬学科・平成14年度卒/大学院薬学研究科薬物動態制御学分野博士前期課程・平成16年度修了

入社後、5年間薬局薬剤師としての経験を積み、現在は現場の薬剤師に対して研修等を行う教育情報部に所属しています。直接患者さまと接することはなくなりましたが、薬剤師のレベルアップをお手伝いすることで、間接的であっても患者さまの健康に貢献するという目的は変わりません。現場の頃よりさらに多くの患者さまに貢献できる仕事だと感じています。今も、熊薬メンバーとは定期的集まって“仕事道”について話し合い、切磋琢磨しています。常に5年先を見据えて行動することの重要性を痛感します。目標を具体的に描き、アクションプランが明確かどうか、今後の自分の成長に大切だと思います。



玉石 順彦 Yorihiro TAMAISHI



千里救命救急センター(大阪)勤務
医学部医学科・平成14年度卒

私は、大阪北部の救命救急センターで、重症患者の初期対応と、ICU管理をしています。医師を志し、医学部へ再入学した私にとって卒業後9年、40歳を超えて月に8回の当直をこなす、この仕事は決して楽なものではありません。しかし、最近この仕事の面白さにますます魅了されています。救急という極限の状態、消えかかる命の炎をいかに守るか。冷静に頭をフル回転させて、他のスタッフと協力しながら治療を進めていく、その過程は表現しがたい魅力があります。回り道をしましたが、今はこの仕事に出合えて本当によかったと思っています。



米田 真里 Mari YONEDA



ルーテル学院中学・高等学校(熊本)勤務
理学部理学科数理学プログラム・平成19年度卒/大学院自然科学研究科数理学専攻博士前期課程・平成21年度修了

中学1年生の担任として生徒たちと触れ合う中で、日々の小さな成長も見逃さないように心掛けています。現場の先生方に支えていただきながら、学びの日々です。大学の先生方は、私の教師への夢を大切にしてください、数学のゼミはもちろん、進路相談から作文指導まで、あらゆる面でサポートしていただきました。また、ゼミで何度も問題に向き合った経験は、現在の仕事をする上でも役立っています。熊大は、学生の夢を温かく見守り、尊重してくれる学校です。学生時代は自由が多い分、自分で考えて動くことが大事です。夢を持ち、その夢に向かって何をすべきかを考えながら、大学生活を過ごしてください。

Report 「熊本へ行こう!明治を探そう!!～第2回熊本大学滞在型セミナー～」を開催

平成23年11月3日(木)～5日(土)、「明治の熊本」をテーマに、第2回となる熊本大学滞在型セミナーを開催しました。2泊3日の期間中、NHKドラマ「坂の上の雲」のチーフプロデューサーである藤澤浩一氏を招いての講演や、熊本市文化財専門相談員の富田 紘一氏のナビゲートによる熊本の街歩きなどを行いました。参加した方々からは、「ドラマ制作の裏側を知り、想像以上の技術が用いられていることに驚いた」、「昔の写真と現在の街並みを見比べてみると、どことなく街に面影があるように感じた」、「いつもと違う視点で歩く街歩きはとても



楽しかった」という声が上がりました。熊本が近代日本の勃興を語る上で欠かせない舞台であるということ、このセミナーを通じてあらためて



熊本市文化財専門相談員・富田 紘一氏が、分かりやすく熊本城界隈の見どころを案内

実感したという参加者も多く、本学のみならず熊本に残る数々の歴史遺産に触れて、明治時代へ思いをはせていました。

Report 第18回「熊粹祭」を開催

平成23年11月4日(金)～6日(日)、「第18回熊粹祭」が開催され、キャンパスは学内外の多くの人々にぎわいました。今年のテーマは「YELL」。東日本大震災により未曾有の被害を受けた東日本の方々へ、そして本学学生へ向けた励ましと応援のメッセージが込められています。キャンパス内には約60団体がテントを張って自慢の味を競い、おいしい匂いに誘われた来学者で大にぎわい。また主に文化系サークルの作品展示やバンドによるライブ演奏、応援団・チアガールによる演舞など、多彩な企画で盛り上げました。工学部では「熊本



大学建築展2011」を同時開催。「人のつながり」をキーワードに光と影による巧みな空間の演出で、多くの人々を魅了しました。



(上)小雨の降る中、多くの人々が来学してにぎわう黒髪キャンパス
(左)「熊本大学建築展2011」の様子

Report 夢科学探検2011

～ 理学部探検、工学部探検、もの・クリ CHALLENGE 第70回化学への招待 ～



平成23年11月5日(土)、理学部・工学部・大学院自然科学研究科で「夢科学探検2011～ 理学部探検、工学部探検、もの・クリ CHALLENGE 第70回化学への招待～」が開催されました。小学生から大人まで、科学に親しみ興味を持ってもらおうと行われる体験型イベントで、平成6年度の「夢

化学探検'94」から数えて今年17回目を迎えます。理学部・工学部などでは、およそ100テーマにわたる実験やものづくり体験が用意され、子どもたちだけでなく大人も興味深々。巨大シャボン玉づくりやエタノールで宙を飛ぶロケットづくり、人気のスライムづくりなど、会場は大いに盛り上がりました。そのほか、「もの・クリCHALLENGE」では本学学生だけでなく全国から参加した他大学学生により、「クリーンエネルギー×ものづくり」をテーマにプレゼンテーション発表が行われました。

Report 女子中高生理系進路選択支援事業 「サイエンスプロジェクト for 九州ガールズ! 2011」
第2回「聞いてみんな、見つけね! 理系の女性ロールモデル」講演会・懇談会を開催



この事業は、九州の女子中学生・高校生に理系を身近な学問として興味を喚起し、理系の自然科学や生命科学を探究する面白さに気付かせ、保護者なら

びに中学校と高校の先生方に女性研究者に関する情報を提供しつつ疑問に応え、理系の進路を選択して女性研究者を志望する女子中高生を増やすことを

目的としています。その取り組みの一つとして、平成23年10月22日(土)に引き続き、第2回「聞いてみんな、見つけね! 理系の女性ロールモデル」を11月12日(土)、本学医学部保健学科(九品寺キャンパスにて)開催しました。女子中・高校生を対象に理系研究の面白さを伝えようと理学・工学・医学・薬学・放射線技術科学などさまざまな研究に取り組む女子学生の先輩たちが、自らの経験を元に講演。研究の魅力や楽しさ・やりがいなど、先輩たちの生の声を聞いた参加者や保護者の皆さんから、熱心な質問が飛び交いました。

Report 「地域防災啓発シンポジウムー東日本大震災から学ぶー」を開催



地域における防災意識と防災力の向上を図ろうと、平成23年11月30日(水)に崇城大学市民ホール(熊本市民会館)において「地域防災啓発シンポジウムー東日本大震災から学ぶー」が開催されました。会場は関係者ほか、学生や一般の聴講者で満員となり、その関心の高さがうかがわれました。開会にあたり谷口 功学長が東日本大震災への思いなどを交えながら、「大学として防災に向き合い、どのように役割を果たしていくかが今後の課題の一つ」と挨拶。また、基調講演では独立行政法人港湾空港技術研究所・栗山善昭特別研究官が、「東日本大震災の

津波被害と今後に向けての取り組み」と題して講演。津波のメカニズムから今後の対策まで、映像などを交えた迫力ある講演は、会場からどよめきが起こるほどでした。そのほか、現地での救援活動や地域防災計画報告などが続き、参加者にとって地域防災について深く考えさせられるシンポジウムとなりました。



谷口学長は医療チームの派遣・救援物資の手配など、本学の東日本大震災に対する救援体制についても報告

Report 特別講義「くまモンと共に、熊本の海洋学を考える。」
「くまモン」が自然科学研究科・横瀬准教授の講義を受講しました!

平成23年12月8日(木)、熊本大学に熊本県のイメージキャラクター「くまモン」が現れ、熊本大学の「くまモン」こと、自然科学研究科・横瀬 久芳准教授の講義を受講しました。その日の講義は、「超初歩の海洋学講座」。「くまモン」は多くの学生たちと一緒に海洋学にちなんだ〇×クイズにも挑戦し、楽しそうに授業を受けていました。また、ファンの学生たちと「くまモン体操」を披露したりDVDを上映したりと、熊本県の営業部長としての任務も拔かりなくこなして帰って行きました。



Report 平成23年度
武夫原会総会を開催



平成23年11月5日(土)、ホテル日航熊本で昭和28年~平成17年に法・文学部および社文研を卒業した約90名が出席して、平成23年度武夫原会総会を開催。総会後の懇親会では、谷口学長、大熊文学部長、山崎法文学部長から、大学、各学部の現況報告と、三澤文学部准教授から、「熊本大学60年史写真集」の編纂報告があり、過日の思い出を重ねつつの楽しい宴が開催されました。

Report 「熊本大学60年史写真集」を刊行

本学が平成21年に60周年を迎えたことを記念し、「熊本大学60年史写真集」を刊行。60年史編纂(さん)事業では「通史編」「部局史編」「写真集」の刊行を予定しており、記念すべき第1冊目となります。本学の前身である第五高等学校など六つの学校の概要や



上空から見た
開学当時の黒髪キャンパス



開学までの歩みを記した「誕生」、年表と写真でその軌跡を追う「熊本大学のあゆみ」、各キャンパスの変化を見ることができる「キャンパスの変貌」。ま

た、教育や研究・地域連携・国際交流・キャンパスライフなど幅広い視点から60年の歴史を切り取って展開した「大学に集う人々」など、各時代ととも

に進化してきた大学の姿を映し出す興味深いコンテンツで構成されています。本学附属図書館などで閲覧することができます。

Info 熊本大学公開講座「知のフロンティア」



本学政策創造研究教育センターでは、知の還元を目的として公開講演会「知のフロンティア」を毎年開催しています。皆さまのご来場をお待ちしています。

第1回 「熊大発!“美しくなる”方法教えます」

講師／田中 尚人准教授
都竹 茂樹教授

(政策創造研究教育センター)

日時／1月12日(木)13:30～15:00
場所／天草市民センター

第2回 「超高齢社会における地域医療」

講師／黒田 豊特任教授
(医学部附属病院)

日時／1月21日(土)13:30～15:30
場所／工学部百周年記念館

第3回 「いつまでも歩き続けるために～整形インプラント開発の最前線～」

講師／中西 義孝教授
(大学院自然科学研究科)

日時／2月18日(土)13:30～15:30
場所／工学部百周年記念館

※事前申込不要・入場無料
【問い合わせ】

政策創造研究教育センター Tel.096-342-2044
URL:<http://www.cps.kumamoto-u.ac.jp/syogaigakushu/frontier/>

Info 第5回エコファーマシンポジウム
「震災から復興、新たな未来へ 薬学の役割」

東日本大震災の被害の甚大さに鑑み、震災の現状と復興に向けての今後の対応について講演会を開催します。東北大学・福永 浩司教授による同大学の被災状況や研究・教育環境への影響と震災対応、被災現場への支援等についての現場報告のほか、東京大学・佐々木 敏教授による東日本大震災における食事・公衆栄養問題に関する講演。また、日本薬剤師会・生出 泉太郎副会長からは日本薬剤師会の震災対応と今後の課題について、国立環境研究所・中島 大介主任研究員の有害化学物質による環境

汚染状況のモニタリングと今後の対策についての各講演のほか、総合討論会を行います。

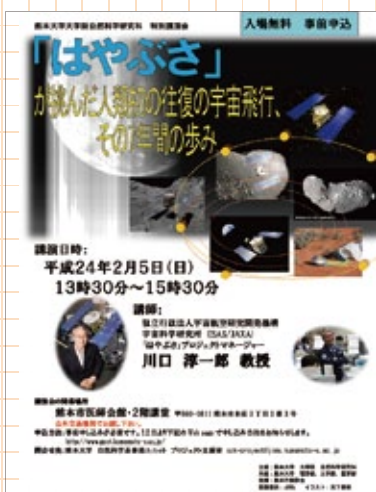
日時／1月17日(火)13:00～18:00
場所／薬学部宮本記念館
コンベンションホール

対象／どなたでも
※事前申込不要・入場無料

【問い合わせ】
生命科学系事務ユニット薬学事務チーム 寺本
Tel.096-371-4105
Fax.096-371-4639
URL:<http://ecopharma.org/>

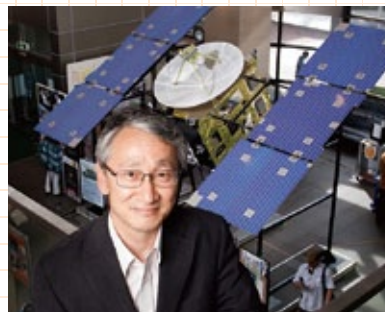


Info 自然科学研究科 特別講演会
「はやぶさ」プロジェクトマネージャー川口 淳一郎先生 講演会



「はやぶさ」プロジェクトマネージャーであるJAXA(宇宙航空研究開発機構)の川口 淳一郎先生の講演会です。「はやぶさ」がか挑んだ人類初の往復の宇宙飛行。その7年間の歩みを直接聞く貴重な機会です。ふるってご参加ください。
日 時／2月5日(日)13:30～15:30 (13:00開場)
場 所／熊本市医師会館・2階講堂 (医学部附属病院横)※公共交通機関でお越しください。
対 象／どなたでも
事前申込／要申込。詳細はHPへ
参加費／無料

【問い合わせ】
自然科学系事務ユニット プロジェクト支援室
E-mail:szk-project@jim.kumamoto-u.ac.jp
URL:http://www.gsst.kumamoto-u.ac.jp/



Info 生命資源研究・支援センター体験講座「遺伝子と仲良くなろう」

本学生命資源研究・支援センターでは、体験講座「遺伝子と仲良くなろう」を開催します。「遺伝子とは何なのか、簡単な実験を体験してもらいながら分かりやすく説明します。
日 時／2月11日(土)～12日(日) 13:00～17:30
場 所／生命資源研究・支援センター 遺伝子実験施設6F講義室
対 象／中学生以上
定 員／16名
事前申込／要申込。ホームページから申込用紙をダウンロードし、FAXまたはE-mailでお申し込みください。
参加費／無料

【問い合わせ】
生命資源研究・支援センター遺伝子実験施設
Tel.096-373-6501 Fax.096-373-6502
E-mail:idsnshi@gtc.gtc.kumamoto-u.ac.jp
URL:http://gtc.egtc.jp/idsnshi/view/exp/rikai2011



Info 平成24年度「公開講座」「授業開放(前学期)」の受講生を募集します

公開講座

本学の教員が「市民の生涯学習」のために企画した講座です。キャリアアップのための専門講座から教養講座、趣味の講座に至るまでバラエティー豊かな講座を用意。
場 所／本学各学部など
開講時期／4月から順次開講
対 象／一般社会人、学生など
募集期間／3月～



授業開放(前学期)

熊本大学の授業を学生と一緒に受講してみませんか。多彩な分野の科目を開放。教養を深めたり専門的な学習が可能。
場 所／本学各学部など
開講時期／4～9月
対 象／一般社会人(高等学校卒業程度以上の学力を有する者)
募集期間／3月初旬～中旬

Info 薬用植物園薬用植物観察会

薬学部薬用植物園で、スイセンやロウバイ、オウレン、サンシュユの花を観察しませんか。
日 時／1月7日(土)11:00～13:00
2月4日(土)11:00～13:00
3月3日(土)11:00～13:00
場 所／薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンター管理棟前集合
資料代／100円、筆記用具持参
【問い合わせ】
薬学部薬用資源エコフロンティアセンター 矢原
Tel.096-371-4381
E-mail:yaharas1@gpo.kumamoto-u.ac.jp

※受講生募集パンフレットは3月上旬より配布予定。最新情報や申込方法などは、ホームページをご覧ください。
【問い合わせ】
マーケティング推進部地域連携ユニット Tel.096-342-3121 Fax.096-342-3239
URL:http://www.cps.kumamoto-u.ac.jp/

熊本大学基金へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

№16(平成23年9月1日～11月30日)

卒業生の皆さま、在学生の保護者の皆さま、法人・団体等の皆さま、本学の退職者及び教職員の皆さまからご寄附をいただき、平成23年11月30日現在、その寄附総額は約4億9,600万円となっております。皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、平成23年9月1日から11月30日までの間に入金を確認させていただきました個人144名、5法人・団体等の寄附者すべての皆さまへ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。公開を希望されない寄附者につきましては、掲載しておりません。

また、万一お名前がもれている場合は、誠に恐縮ではございますが、募金推進室(電話:096-342-2029)までご連絡ください。

なお、第1期の募集目標額を10億円としております。皆さまの更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. お名前・寄附金額の掲載を希望された寄附者

(寄附金額別、五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※()内の数字は、累計寄附金額(万円)です。

[20万円]	上田 厚						
[5万円]	長谷場琢哉(10)	兼重修先生の白寿を祝う会					
[5万円未満]	有吉 寛	大富 武昭	佐川 道夫(8)	中原 義雄	東 哲也	松田 忠義	
	三池 亮次(15)	本島 昭男	笠 裕之	渡邊 知宣	工学部40電気会		

2. お名前のみ掲載を希望された寄附者

(五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。) ※[]内の数字は、累計寄附回数(回目)です。

池田 稔	石川 峯生	伊藤 恒雄[2]	稲森 洋平	岩津 春生	岩永 久幸	上野 満生[2]
上村 龍淵	有働 征士	大田 政伸[2]	緒方 雄輔[4]	岡本 敏秀	小野 敬太	柏木 光博
片江 明利[2]	加藤 賢二	神澤 直美[3]	木原 修	小池 克明[2]	古閑 正治	児嶋 準一
坂田 孝輔[2]	佐々木興三	佐藤 静一[2]	佐野 泰二[2]	澤田 俊彦	柴田 貴徳	新佐枝憲一
末吉 政彦	大保 紘一	高以良修一郎	高田 尊徳	武宮 利徳[2]	帖佐 恵	鶴田 一眞[2]
寺田 隆則[2]	永田 昌知[2]	長廣 達彦	中村 留男	丹生 算之	野口 雅章[2]	橋爪 宣博
馬場 義雄	福山 博明	淵上 彌一	古家 堯	本田 一雄[3]	本多 邦雄	本田 芳治
前畑 勲[2]	真佐喜 彰	増住美知雄	町田 和美[4]	宮城 敏行[3]	村上 元生	持原 延吉
持原 稔	森 誠[2]	柳井 博	柳田 敏孝[3]	山下喜八郎[2]	山下 邦彦	山田 富朗[2]
吉崎 清明	吉田 達郎	吉野 達雄[2]	シモダ印刷株式会社		堤化学株式会社[5]	

3. お名前・寄附金額の掲載を希望されない寄附者

個人66名、1法人・団体等

関西連合同窓会設立記念式典・祝賀会を開催

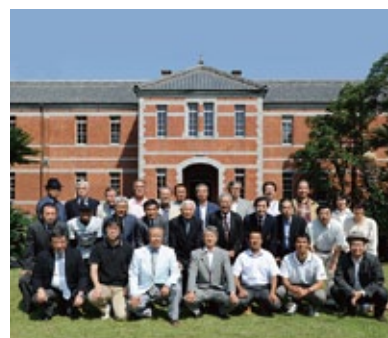
平成23年12月3日(土)、大阪第一ホテルで谷口学長をはじめ多くの関西地区在住の卒業生、大学関係者など約120名が出席し、関西連合同窓会設立記念式典・祝賀会が開催されました。式典では、西山多加志関西連合同窓会会長(S44工)、谷口学長、岡村同窓会連合会会長の挨拶に続いて設立趣意、会則、役員等の紹介が行われた後、同会の初代名誉会長に就任した桑野幸徳太陽光発電技術研究組合理事長(S38理)の挨拶がありました。記念講演会では、谷口学長が「熊本大学の現在・過去・将来」と題し、卒業生の上原好人株式会社タンゴロイ代表取締役社長(S47工)が「ものづくりを支える超硬工具」と題して講演。祝賀会では、最後に「五高寮歌」を全員で熱唱し、大盛会のうちに終宴となりました。



講演する上原好人氏

熊本大学硬式野球部創部60周年記念イベントを開催

熊本大学硬式野球部OB会(熊硬会、松村邦明会長)の有志28名が集まり、平成23年10月9日(日)、新制大学硬式野球部創部60周年記念イベントを開催し、午後は、熊本学園大学との第18回OB定期戦を行いました。また、メルパルク熊本での懇親会には、来賓も含め約100名が出席し、第一期生の鶴上氏が創部当時の苦労やエピソード等を話すなど旧交を温め、最後は現役4年生の下川貴之前主将の巻頭言に続き「武夫原頭に草萌えて」を全員で熱唱しました。また、11月5日(土)、旧制五高・七高定期戦の流れを継ぐ第104回熊本・鹿大定期戦を熊本で開催。当日はあいにくの雨模様の中、古希を迎えようとするOBもグラウンドに立ち、一投一打に学生時代を彷彿させるプレーを披露しました。



KUMADAI NOW

WEBマガジン
熊大なう。

KUMADAI NOW[熊大なう。]は、
熊大の“今”が分かるWEBマガジンです。

創刊

WEBマガジン



熊大ピープル
毎月更新



ロボコンへの夢2011
毎月更新

TOPICS
毎週更新



WEBマガジン熊大なう。



国立大学法人
熊本大学

〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 TEL.096-344-2111(代)

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

■黒髪キャンパス ■本荘/九品寺キャンパス ■大江キャンパス
[オフィス]東京オフィス/関西オフィス/上海オフィス/韓国KAISTオフィス/インドネシアITSオフィス
国際産学連携サテライトオフィス(駐山東大学)